江差町立江差北中学校

校長　太　多　弘　之

生徒数　　４５名

学級数　４（１）学級

職員数　　１５名

－「９年間で身に付けさせたい力」を明確にした学校経営－

「心豊かに学び、未来（あす）を拓く児童生徒」の育成を目指し、小中一貫教育の推進に努めている。

特に、平成31年度から小学校併設型中学校として小中一貫校に移行し、自ら学び、ともに学び、自己肯定感・自己有用感に満ちた生徒の育成に向けた教育活動を推進し、身に付けさせたい力を明確にした指導計画に基づいた教育活動に取り組み、目指す生徒像の育成に向け大きな成果を上げている。

－小・中の円滑な接続を目指した乗り入れ授業等の実施－

「９年間で身に付けさせたい力」の育成を目指し、小学校と連携した組織的な取組により、小学校との円滑な接続に努めている。

特に、小学校教諭による数学科の乗り入れ授業や、数学科における９年間を見通した年間指導計画に基づく授業改善、小中合同の「教師スタンダード」による指導方法の統一及び「家庭学習の手引」を活用した「家庭学習強化週間」の取組により、生徒の学力向上に大きな成果を上げている。

－小中合同での組織的な校内研究と成果の普及－

平成26年度から北海道教育委員会の指定を受け、小中一貫教育に組織的に取り組み、その実践に努めている。

特に、毎月の定例活動では、指導方法の工夫や目指す児童生徒像に迫るための内容を研究し、小中全体で取組を共有化している。

また、小中一貫教育公開研究会を毎年開催し、小中合同授業を公開し、研究協議を行うなど、研究成果の普及に効果を上げている。

－家庭や地域から信頼される学校づくりの推進－

学校を訪問すると、いつも生徒たちの元気な挨拶が聞こえてきます。

学校行事では、赤ちゃん抱っこ体験や幼児との触れ合い学習など、地域の人たちとの交流を大切にしており、ふるさと学習では、地域の伝統芸能である江差追分の演奏や鹿子舞の演舞などの活動も行われていて、これからの江差を担う人材を育成する取組が行われていることを頼もしく感じています。

（保護者の声）